

## 塵は塵に、恵みは恵みに

## コリントの信徒への手紙二5:20~6:2 / 李正雨師

この世界はどのように創造されたか。これについて科学者たちは、ビッグバン理論を語っています。大爆発によって宇宙が作られ、今も宇宙は膨張しているという理論です。そして、この膨張した宇宙によって、いろいろな命の種が生まれ、進化して今の世界になったというのが、私が学校の科学の時間に学んだ創造と進化についての内容でした。それでは、聖書では創造について何と語っているのでしょうか。聖書によると、すべての万物は神様が言葉によって作られたと書かれています。創世記1章は、「神は言われた。『光あれ。』こうして、光があった。」と語っています。神様は何もなかったこの世に光を作り、光と暗闇を分けられました。この光と暗闇をはじめ、この世のすべてのものが神様の言葉によって作られました。これが私たちが信じているこの世の創造です。

しかしこの創造の中で、私たち人間の創造は、他の被造物の創造とは違います。創世記2章7節には、人間の創造についてこう書かれています。「主なる神は、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」他の被造物は、神様の言葉によって作られましたが、私たち人間は、すでに作られた創造物、土の塵によって再創造されました。そして、神様がその塵の鼻に命の息を吹き入れられると、人は生きる者になりました。つまり、私たち人間は塵によって作られ、命の息によって生きる者になったということが、創世記が語っている人間の創造です。ここで生きる者ということは、原語で「ネフェシュ・ハヤ(נֶפֶשׁ חַיָּה)」、英語ではLiving beingと言います。これは単に生き物だけを意味しているわけではありません。聖書での生き物はみんな「ネフェシュ」と語っているからです。神様の命の息を入れられた最初の間人は「ネフェシュ」ではなく「ネフェシュ・ハヤ」になりました。私は、これが私たち人間が他の被造物と区別される理由だと思います。単に命があるだけでなく、神様の息を受けた霊的な存在、神様のものを一部分持っている存在、これが私たち人間だと思います。

それで、私たちは神様の存在を捉えることができ、何が正しいか、何が正しくないかをある程度理解し、霊的なことを求めることができるのだと思います。私たちの中には、他の被造物とは違って、神のものが入っているからです。しかし、このような私たちを「ネフェシュ・ハヤ」として、霊的な存在として生きることを妨げるものがあります。それは罪というものです。創世記2章は、人間の起源について語っています。そして創世記3章は、人間が罪を犯したことを語り、罪の代価として死が人間に与えられたことを語っています。神様の息によって、人は生きる存在になりましたが、罪によって、人は死ぬ存在になったということです。創世記3章19節で、神様は最初の間人にこう言われます。「お前は顔に汗を流してパンを得る。土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。」

私たち人間は生きる者として創造されましたが、罪によって死ぬ者になりました。言い換えれば、塵に戻るしかない存在になったということです。このことに例外はありません。力強い者も、豊かな者も、名がある者も、みんな土の塵に戻ります。すべての人間の終わりは虚しいのです。自分が積み重ねたすべてのことは、死によって灰になるのです。しかし、私たち人間を生きる者として創造された神様は、私たち人間を死ぬだけのものとはなさいませんでした。神様は、塵に戻るしかない私たちに、もう一つの命の息を与えられました。その命の息がまさにイエス・キリストです。今日の第2の朗読であるコリントの信徒への手紙二5章20-21節には、このように書かれています。「神と和解させていただきなさい。罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたの

です。」

神様は私たち人間の罪のことを解決するために、イエス様を私たちのところにお遣わしになりました。虚しく終わるしかない私たちの人生に、新しい希望を与えてくださったのです。最初の人間の罪によってこの世に死が入りましたが、イエス様によって私たちは復活するようになったのです。私たちに与えられた恵み、すなわちイエス様が、私たちの新しい命の息になってくださるからです。コリントの信徒への手紙6章1節には、この「**神からいただいた恵みを無駄にしてはいけません**」と書かれています。イエス・キリストだけが私たちの永遠の命になってくださいます。私たちを「ネフェシュ」ではなく「ネフェシュ・ハヤ」として生きさせてくださいます。塵から生まれた人は塵に戻り、恵みから生まれた人は恵みに戻るのです。この希望のメッセージがこの場に集まっておられる皆様と共にありますように。イエス様の救いがこの世のすべての人に臨みますように、主の御名によって祈ります。アーメン